

基本目標・数値目標

(1) 新たな産業集積による雇用創出

- 5年後の社会動態：470人以上
(2014年 ▲115人)

(2) 創造交流都市としての拠点性を活かした交流人口の拡大

- 5年後の観光入込客数：2,220万人
(2014年 1,845万5千人) ,
延べ宿泊者数：225万5千人
(2014年 214万6千人)

(3) ライフステージに応じた一貫した支援による少子化の克服

- 2020年までに住んでいる地域の子育て環境や支援の満足度を3.5に向上
(2013年度2.9, 5段階評価)
- 2020年までに夫婦が理想とする子どもの人数(2.55)と実際にもつづもりの子どもの人数(2.23)の差を縮小

(4) 地域力・市民力を活かした誰もが安心して暮らせるまち

- 5年後の「住みやすいまち」と思う人の割合：50% (2015年 31.5%)

具体的な施策・取組み

ア 産業振興を通じた雇用の受け皿づくり

- ・ 情報通信関連産業や製造・物流企業の立地促進, 航空機産業における技術高度化の支援, 中小企業の生産性向上に向けた支援, 新規就農者の確保や育成の推進, 創業・起業の支援 など

イ UIターン促進の環境づくり

- ・ 「新潟暮らし」の魅力発信, 移住者への就労・住まいに関する支援, 女性や若者の就労支援 など

ア 多様な来訪者の獲得

- ・ 食文化などの魅力発信や観光コンテンツの充実, 外国人の誘客促進, MICE誘致活動の推進など

ア 結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、切れ目のない支援を実施

- ・ 出会いの場づくりや結婚新生活への支援, 妊娠・出産のサポート体制の整備, 病児・病後児保育など多様な保育サービスの充実, 放課後児童クラブの整備 など

イ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

- ・ 企業の表彰などによる働き方改革の推進, 男性の育児休業取得の支援 など

ウ 新潟らしい教育の推進

- ・ 新潟の良さを伝えふるさとへの誇りと愛着を育む取り組みの実施, 食育・農業体験の推進, 地域教育コーディネーターによる地域等との協働事業を充実 など

エ 地元の大学等への進学、地元企業への就職の促進

- ・ 新規大学設置等への支援, 返済免除のある奨学金貸付の実施, 就業体験・セミナー等市内企業の魅力発信による市内就労の促進 など

ア 地域資源を活用し、多様な生活環境を選択できる暮らし

- ・ 地域主体で移住・定住の取り組みを行っている「移住モデル地区」への支援, 「地域の茶の間」などの多世代交流の推進 など

イ 新バスシステムによる、マイカーだけに頼らない持続可能な公共交通のある暮らし

- ・ 新バスシステム・BRTにおける交通結節点の整備, 区バスの運行や住民バスの運行への支援, 健康意識の醸成を行っている企業等への支援 など

ウ みなとまちの歴史や文化など、魅力的なまちなかを感じられる暮らし

- ・ 古町地区の街路の石畳化, 新潟駅周辺地区の整備 など